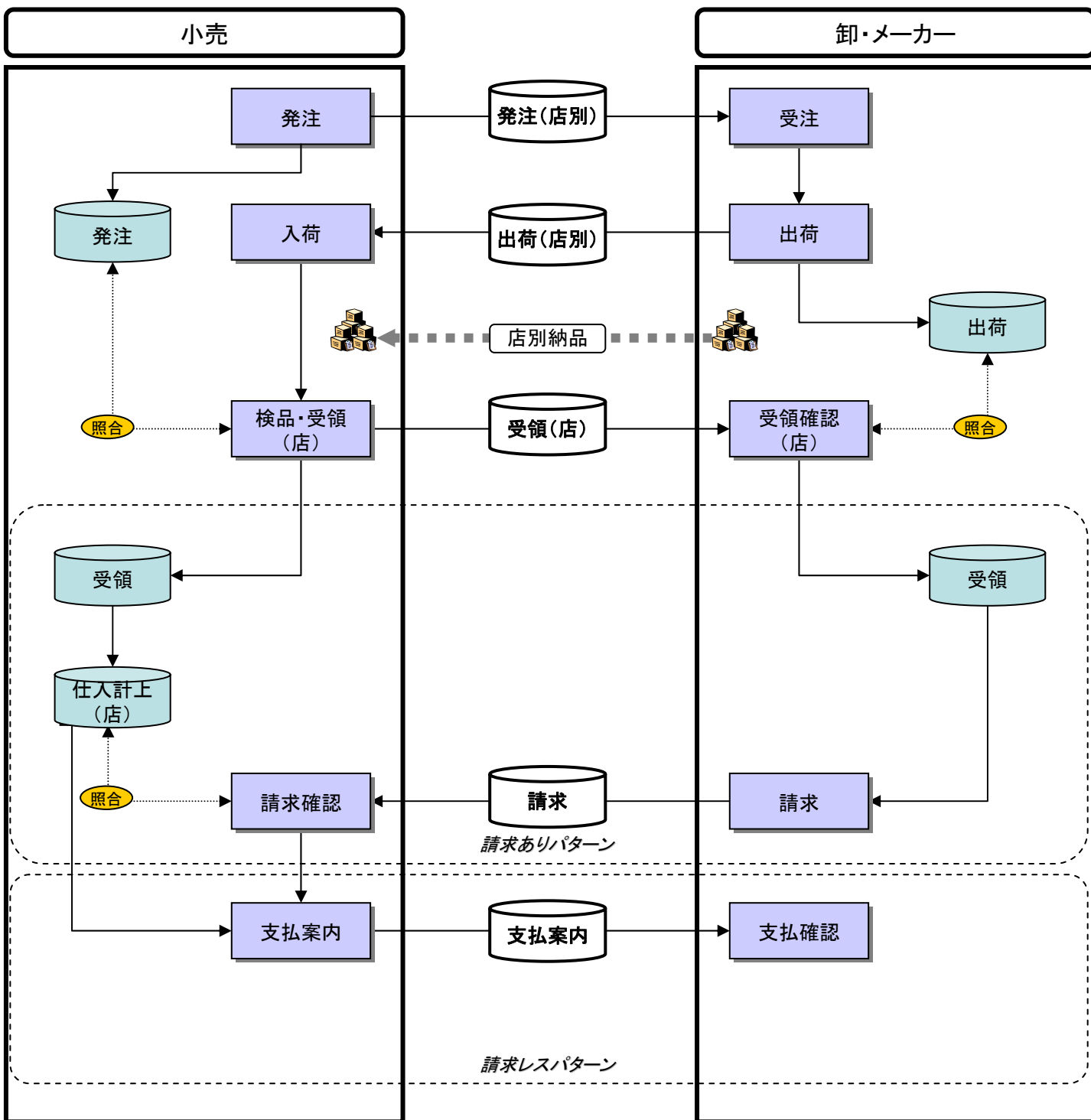


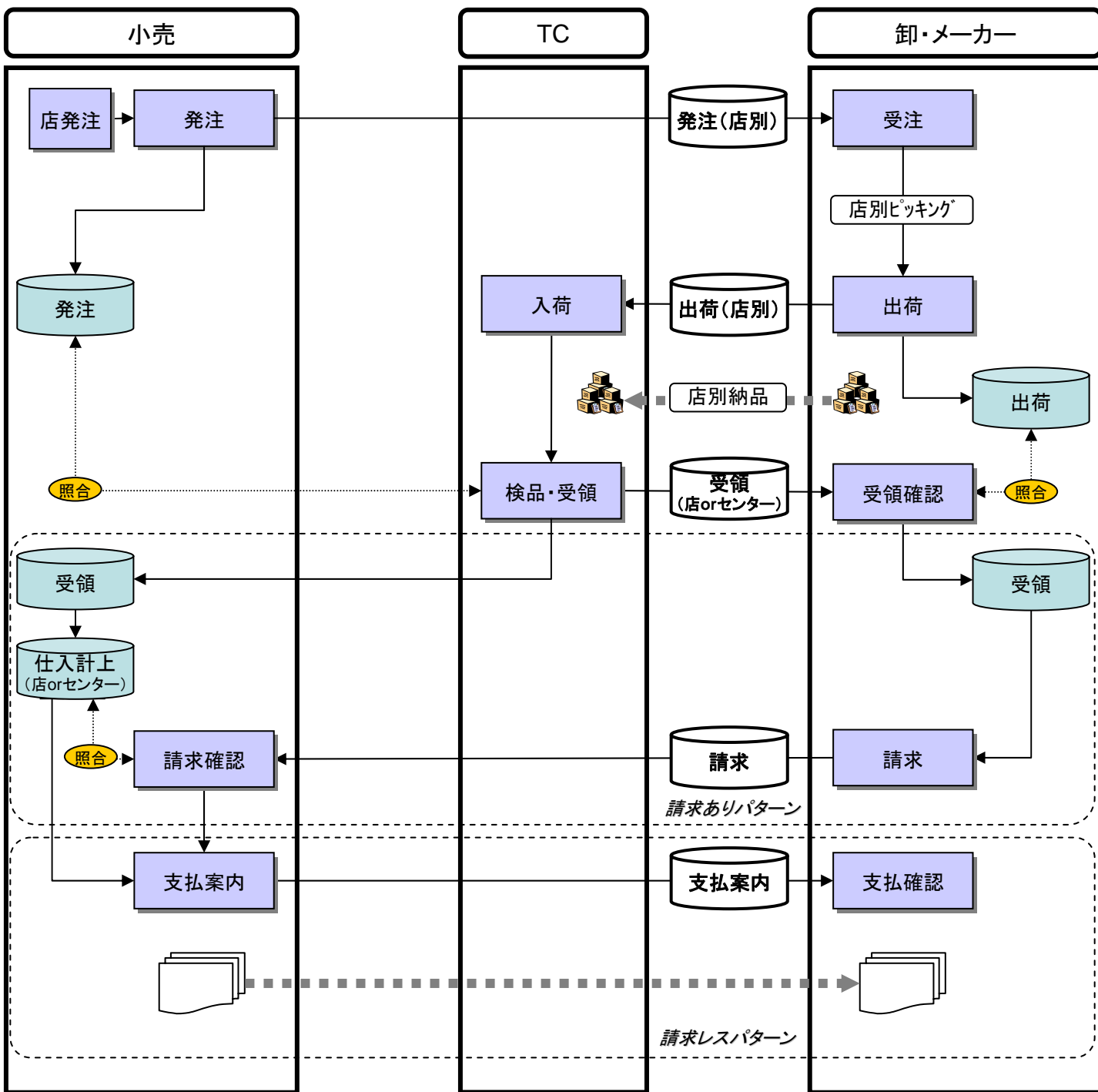
一般的な納品プロセスパターン

①店舗直接納品



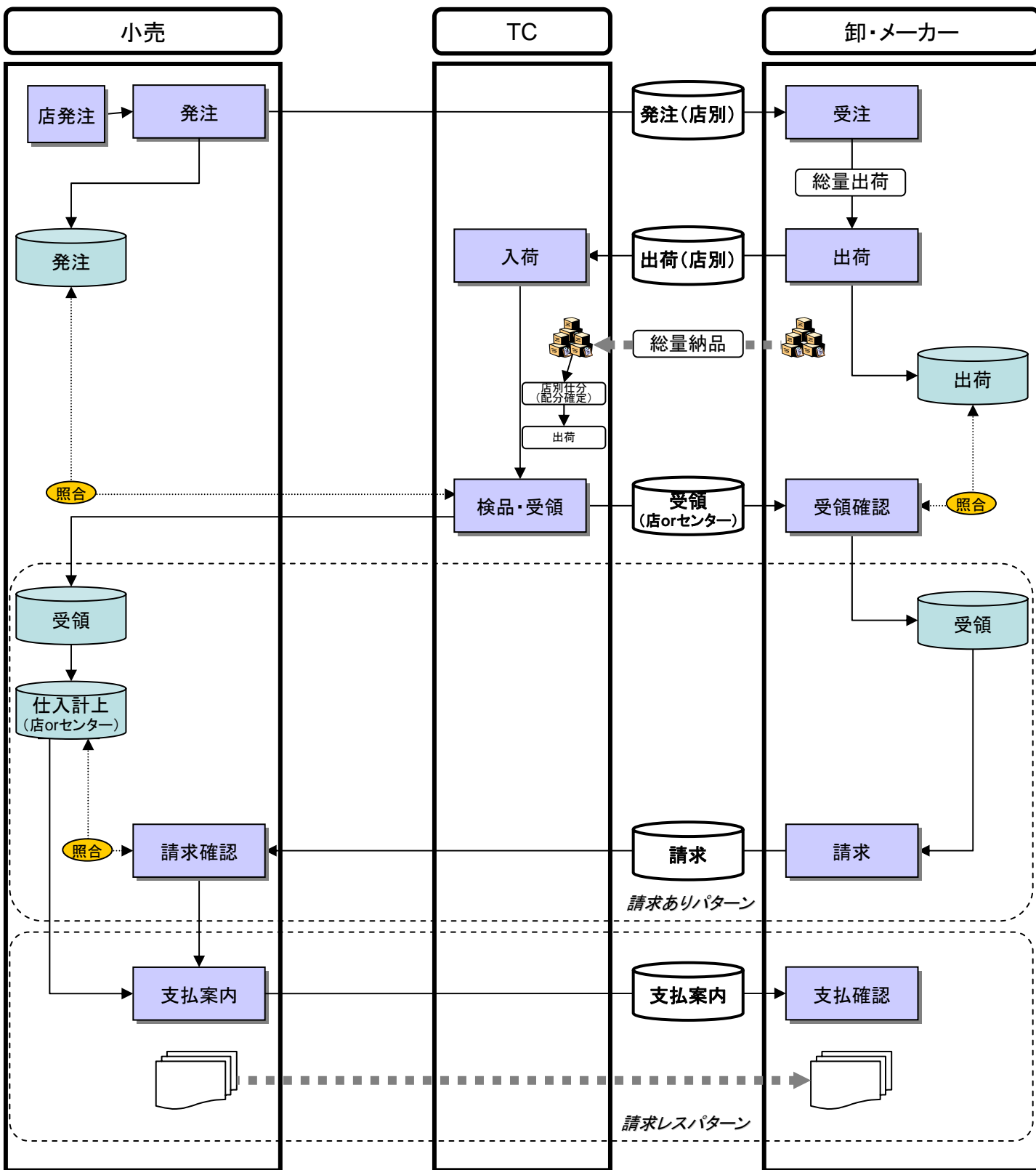
店舗直接納品とは、小売からの発注に対して、卸・メーカーが小売の店舗に直接納品する形態のことである。

②通過型センター（TC）納品（店別仕分納品）



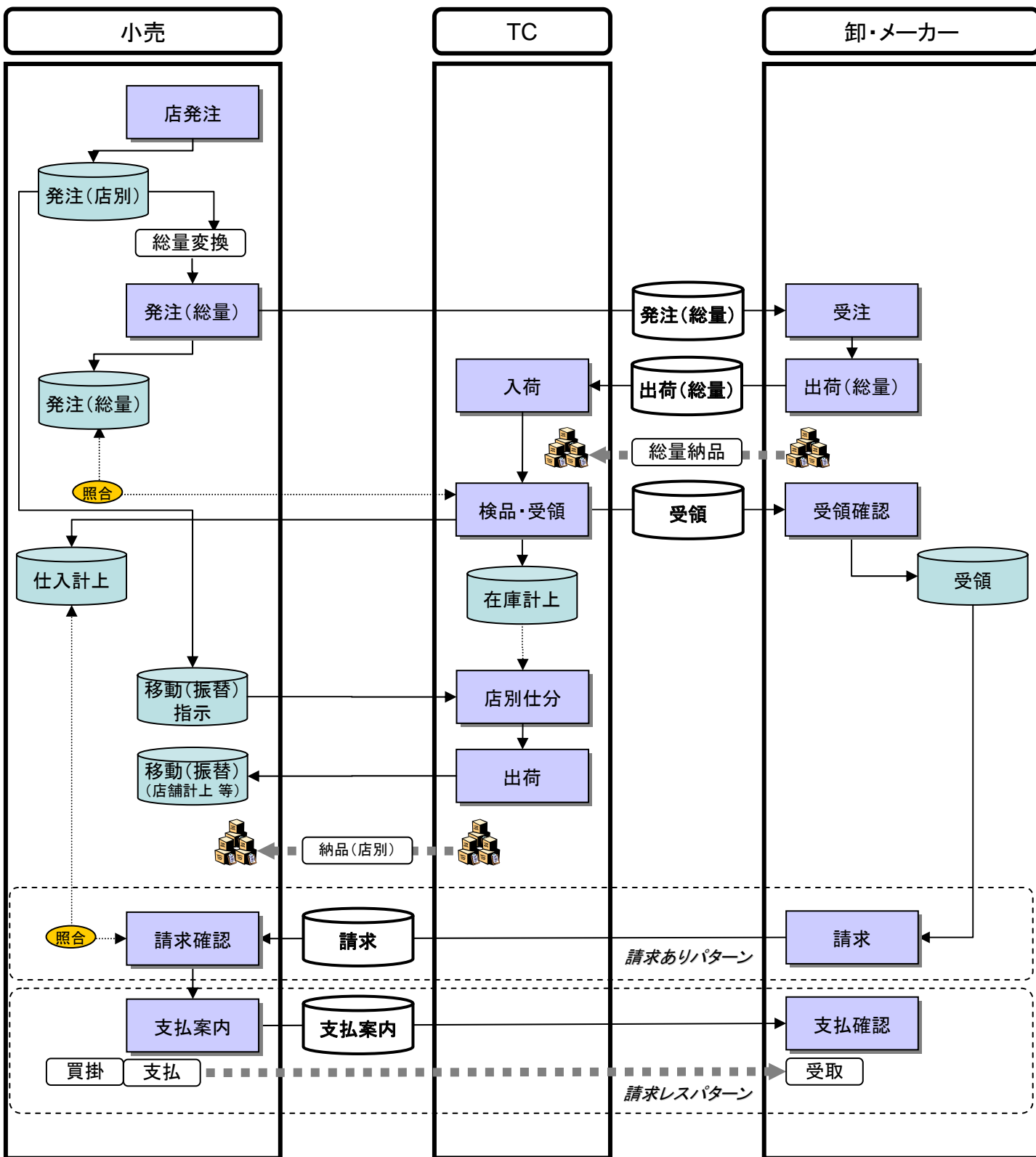
通過型センター（TC）納品（店別仕分納品）とは、小売からの発注に対して、卸・メーカーが小売の通過型センター（TC）に店別仕分をして納品する形態のことである。

③通過型センター（TC）納品（総量納品①）



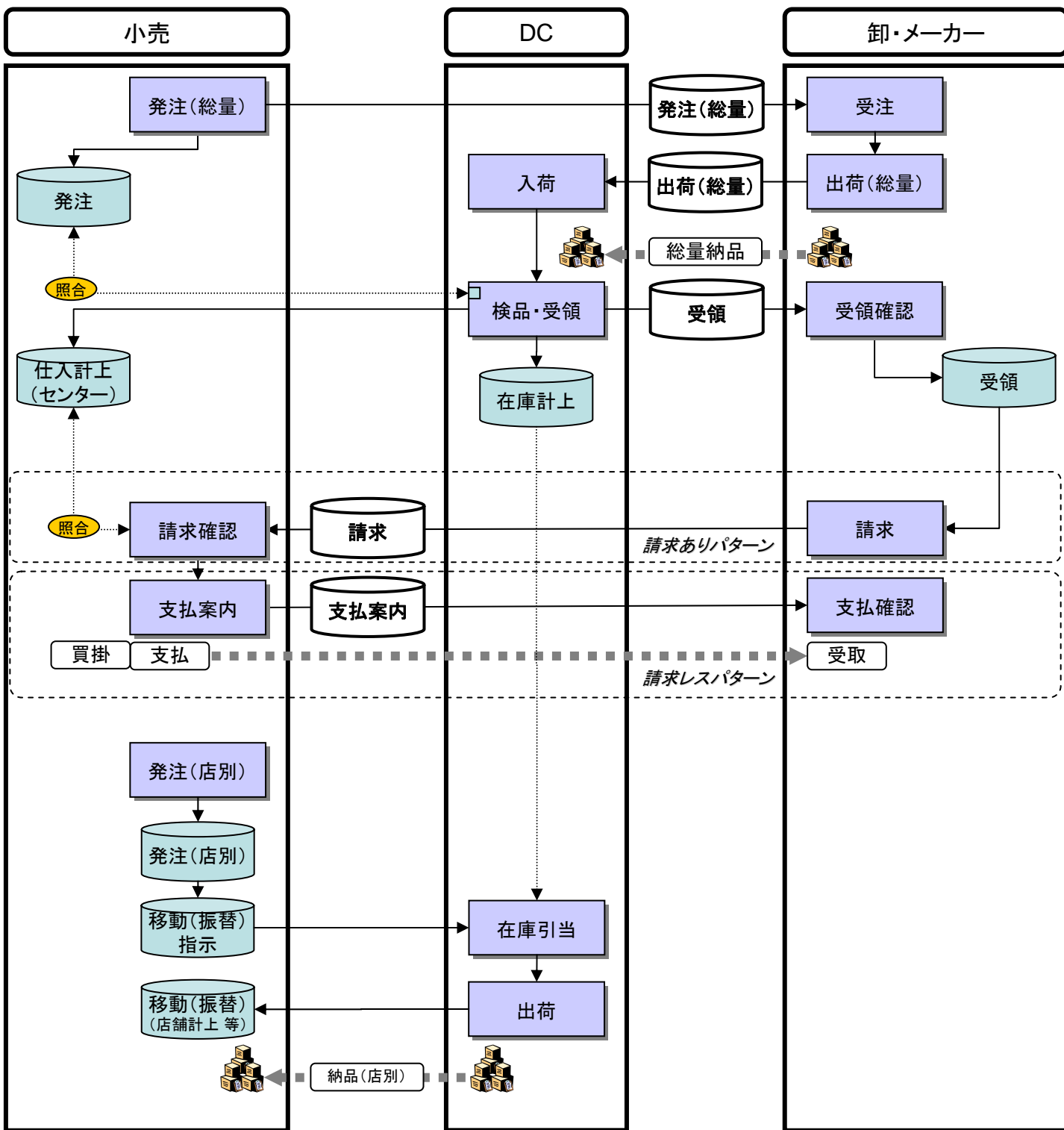
通過型センター（TC）納品（総量納品①）とは、小売からの店別の発注に対して、卸・メーカーが小売の通過型センター（TC）に、総量として納品する形態のことである。

④通過型センター（TC）納品（総量納品②）



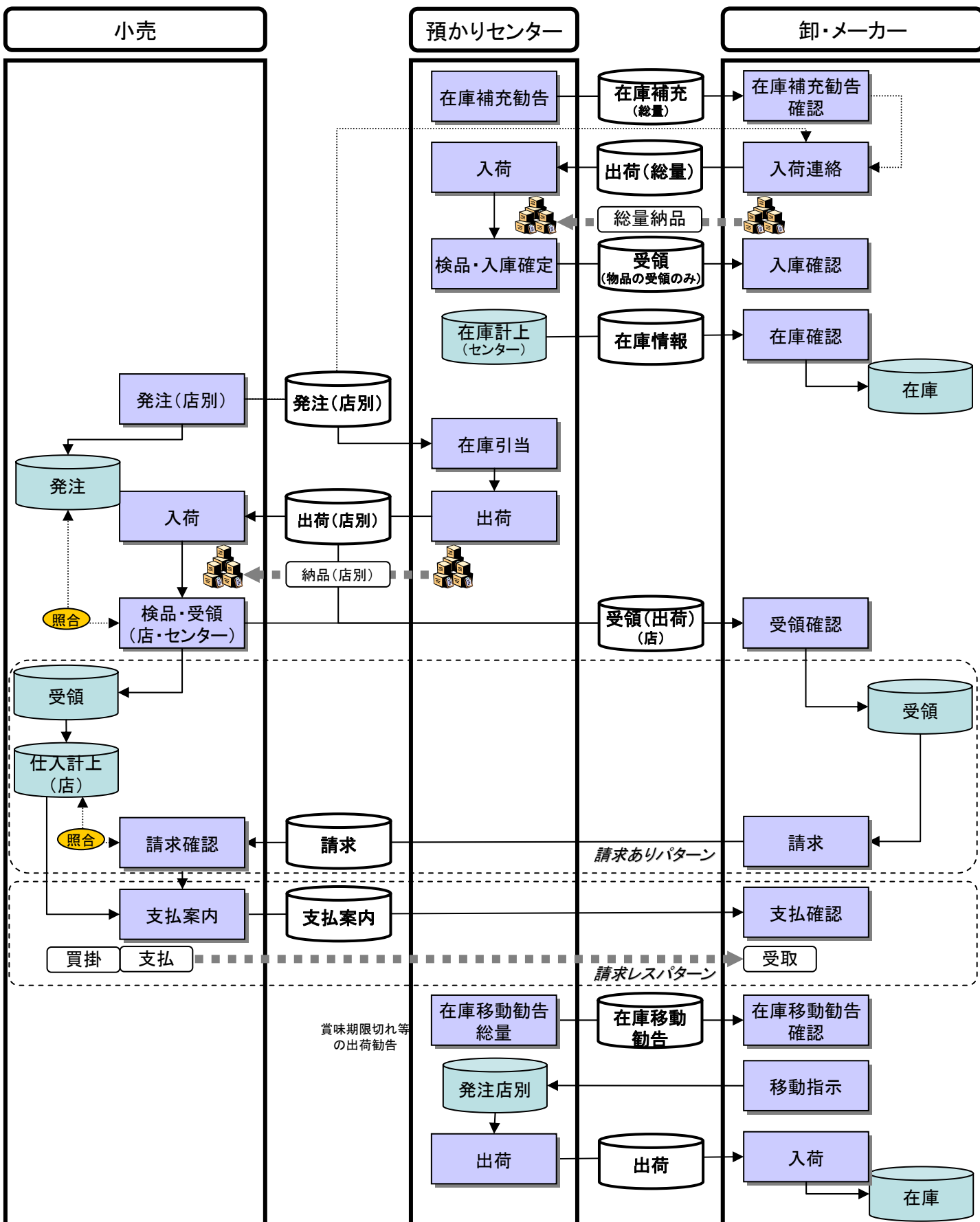
通過型センター（TC）納品（総量納品②）とは、小売からの総量の発注に対して、卸・メーカーが小売の通過型センター（TC）に、総量で納品する形態のことである。

⑤買取在庫型センター(DC)納品



買取在庫型センター(DC)納品とは、小売からの総量の発注に対して、卸・メーカーが小売の買取在庫過型センター(DC)に、総量で納品する形態のことである。納品された商品はDCの在庫として計上される。

⑥預かり在庫型センター納品



預り在庫型センター（DC）納品では、預りDCからの在庫補充に対して、卸・メーカーが預りDCにいったん商品を移動させる。預りDCに納品された時点では、商品は卸・メーカーの在庫のままである。小売が預りDCセンターに対して発注をおこない、預りDCから小売の店舗に商品が納品された時点で、小売の在庫となる。小売は店舗への納品をもって受領を卸・メーカーに送る。

預りDCには小売が運営するタイプと、卸が運営するタイプがある。預りDCがどちらの運営かにより、メッセージ上の登場人物の位置づけが変わる。